

本会の活動から

第55回日本小児循環器学会総会 学術集会に参加

第55回日本小児循環器学会総会・学術集会が6月27～29日、北海道札幌市で開催された。テーマは「Collaboration for the future——未来のための協調」。

学術集会の会頭は、本会の学校心臓検診をご指導くださった埼玉医科大学国際医療センター小児心臓科教授の住友直方先生で、所属されている大学とは離れた北海道での開催だった。

学術集会はカテーテル治療、画像診断、植込み型デバイス、補助循環装置、心臓移植、再生医療、成人移行医療など、多くの分野で最新の情報を含む発表



表があり、医学・医療技術の進歩が肌で感じられるものだった。

また、筆者が所属する小児心電図研究会の発表では、5万7000人の児童生徒の心電図データを基に「2006年版学校心臓2次検診対象者抽出のガイドライン」の見直しを行い、その改訂ポイントを解説したところ、学校心臓検診に携わる関係者が大勢集まり、立ち見が出るほどの盛況であった。

筆者は本学術集会に毎年参加しているが、一人でも多くの子どもたちの命を救いたいとの思いの下、日々奮闘されている小児循環器の先生方の熱意と情熱に、いつも刺激を受けて帰ってくる。今後も、このような先生方と真剣に向き合いCollaborationで「仕合わせ」と時間を大切にしていきたい。

学校保健部長 阿部勝巳

第61回日本婦人科腫瘍学会 学術講演会に参加

第61回日本婦人科腫瘍学会学術講演会が7月4～6日、榎本隆之会長（新潟大学大学院医歯学総合研究科産婦人科教授）の下、新潟県新潟市で開催された。

婦人科腫瘍学会は、子宮頸がんをはじめとして婦人科がん全般に関して研鑽する学会である。今回は、検査研究センター長の木口一成とともに参加した。

本学術講演会のテーマは、「婦人科がん治療におけるprecision medicine——導入から実践へ」だった。「precision medicine」は、遺伝情報を適切な

——受診者へのアンケート結果から」と題して口演。2015年度から始めた人間ドック受診者全員を対象とした保健指導の効果を検証した結果について発表した。

また、筆者は淳風会健康管理センターの施設見学と人間ドックの昼食試食会がセットになった体験ツアーが組まれていたので、これに参加した。

同センターには、陶器の展示や絵画のギャラリー・ラウンジなどもあり、受診者を飽きさせない工夫が随所になされていて、大変参考になった。

施設健診部課長 西潟栄司

第37回全国情報統計研修会に参加

第37回全国情報統計研修会（主催 予防医学事業中央会／栃木県保健衛生事業団）が8月29～30日、栃木県宇都宮市で開催された。

この研修会は、予防医学事業を推進する上での課題やこれらの情報統計のあり方について、予防医学事業中央会傘下にある全国支部の情報統計・システム開発部門担当者が一堂に会し、模索・研究し、能力向上をめざす場として毎年開催されている。今年参加者は28支部76人であった。

研修会初日は3支部の事例報告の後、情報処理部門と成績処理部門（職域、施設・人間ドック、地域・学校）の5グループに分かれて情報交換を行った。筆者は6年ぶりの開催となった「学校健診担当者の情報交換会」に参加したが、自支部の課題を解決すべく他支部との質疑応答など活発な議論が展開され、予定時間では足りないほどであった。

2日目は栃木県支部活動の紹介、教育講演「2つ

治療法の選択に活用する医療である。近年、33種類のがんに対するゲノム解析が終了した。日本においては、今年6月より一部のがん遺伝子パネル検査が保険収載された。

また近年、がんの中には遺伝が関与するものがあることが判明している。家族性（遺伝性）腫瘍と呼ばれるものであり、婦人科がんでは、遺伝性乳がん卵巣がん症候群、リンチ症候群（大腸がん、子宮体がん、卵巣がんなど）が代表的なものである。今日、がんの治療のみならず予防医学においても遺伝学的知識・検査は極めて重要な位置づけになっている。

こういった家族性腫瘍などを中心に、シンポジウム、ワークショップなどで多くの演題が発表された。なお今回、私は子宮体がんの診断・治療に関するセッションで座長を務めさせていただいたが、当セッションにおいても活発な質疑・討論が行われた。

本学術講演会では、婦人科がんとどまらず、広くprecision medicineについて学ぶことができた。今後の本会におけるがん検診等のためにも、有益な勉強の機会となった。

細胞病理診断部長 久布白兼行

第27回日本乳癌学会 学術総会で症例解説

第27回日本乳癌学会学術総会（会長 佐伯俊昭・埼玉医科大学国際医療センター病院長）が7月11～13日、東京都新宿区で開催された。

今回のテーマは、「乳がん患者の心と身体のケア——乳がんゲノム医療と支持医療」。ゲノム（遺伝情報）医療とは、がん患者の遺伝子変異を調べ、最も効果的な治療を選択するがん治療の方法である。



の「統計」のはなし」の他「健診機関の働き方改革」について、2支部の事例報告に基づき全体討議を行った。特に働き方改革については、情報共有ツールや新しいシステムの利用により生産性向上の取り組みを行った事例などは、今後の業務を進める上で大変参考になった。

他支部の職員との親交を深め、抱えている問題を共有し協議することで課題解決のヒントを得ることができると見られる場として、とても有意義な研修会であった。

統計事務部一課長 森 郁子

第60回日本人間ドック学会 学術大会に参加

第60回日本人間ドック学会学術大会（学術大会長 井上和彦・淳風会健康管理センター長）が7月25～26日、岡山県岡山市で開催された。

今回のテーマは、「Beyond You 働く世代の健康増進をめざして！」。受診者一人ひとりに優しく寄り添う人間ドックにするためにはどうすべきかをめぐり、多数の特別講演や教育講演、シンポジウム、一般演題、ポスターセッションなどが行われた。

本会からは健康増進部の吉田静絵保健師が、一般演題で「人間ドックにおける保健相談の現状と課題

それぞれのがん患者に対し、効果の高い、最適な治療法（主に抗がん剤）を優先的に実施することができる。効果の低い方法は避けることも可能であり、治療成績の向上のみならず、効果のない治療法を実施しないことで患者の経済的負担の軽減、副作用などによる身体的負担の軽減、ひいては日本全体の医療費の軽減などにつながると期待されている。

今年6月1日よりがんゲノム治療が保険収載され、9月にはがんゲノム医療拠点病院が新しく指定されるということ、令和元年は「ゲノム治療元年」になると思われる。

第60回日本人間ドック学会 学術大会に参加

今回のテーマは、「Beyond You 働く世代の健康増進をめざして！」。受診者一人ひとりに優しく寄り添う人間ドックにするためにはどうすべきかをめぐり、多数の特別講演や教育講演、シンポジウム、一般演題、ポスターセッションなどが行われた。

本会からは健康増進部の吉田静絵保健師が、一般演題で「人間ドックにおける保健相談の現状と課題

本会理事に山田正興氏が就任

7月11日に、山田正興氏（山田医院院長）が本会の理事に就任した。

山田氏は1979年、日本医科大学大学院医学研究科を卒業。中野区医師会会長、中野区教育委員会教育委員などを歴任し、今年6月より一般社団法人東京産婦人科医会会長を務めている。

山田氏の理事就任により、本会では理事長の小野良樹を筆頭に11人の理事で組織運営に当たる。

人・往来

東京工科大学の学生の統合看護実習に協力

東京工科大学では、医療保健学部看護学科の教育課程で統合看護実習を行っている。本会は、その臨地実習に協力し、7月22日、8月5日の2日間にわたって看護学生8人を受け入れた。

実習では、健康増進部のスタッフが、検査・健診や保健指導をはじめとする健康づくり支援の実践について解説した。

新生児マススクリーニングの現状を東京都が視察

先天性代謝異常症の中には、出生後早期に発見し、適切な治療を行うことで急性期の重い症状や知能障害、発育障害などの発症を予防できるものがある。

本会では東京産婦人科医会の協力を得て、1974年からフェニルケトン尿症など新生児の先天性代謝異常症等のスクリーニングに取り組んでいる。

現在のスクリーニング対象疾患は20疾患。東京都からの委託を受けて、都内の新生児マススクリーニングを行っている。

7月30日に東京都福祉保健局少子社会対策部の担当者ら3人が本会を訪れ、検体受付から結果報告に至る検査の現状を視察した。

帝京短大と東洋大学の学生の見学実習に協力

養護教諭をめざす学生を対象にした見学実習に本会が協力するようになり、今年で3年目を迎えた。8月6日に行われた今年の見学実習には、帝京短期大学と東洋大学から合わせて9人の学生が参加した。

午前は学校保健部のスタッフが学校保健事業について、午後は検査室で臨床検査技師が心電図検査や側わん検診について説明を行い、さらに尿や血液などの検体がどのように検査されているかを実際に見てもらった。

昼食は、本会の人間ドックで提供している管理栄養士監修のお弁当を食べてもらったが、野菜をふんだんに取り入れたお弁当は学生にも好評だった。

見学の終盤では、学生からさまざまな質問が出るなど、本会のスタッフにとっても有意義な実習となった。



小児健康相談室のご案内

検診で異常を指摘された子どもを対象に、専門医によるフォローアップを行っています

学校検診で異常を指摘されたけれど、近くに専門医がない。軽微な異常で治療は必要ないけれど、定期的な経過観察は必要。「小児健康相談室」では、そうした子どもたちを対象として、専門医による経過観察、生活指導を行っています。

検査や診断には費用がかかります（保険診療）。本会で学校検診を受けた方は、検査・検診時のデータを用いて診療や相談が可能です。

	腎臓病	心臓病	貧血	脊柱側湾症	肥満・コレステロール	思春期やせ症
担当医	村上陸美 日本医科大学 名誉教授	浅井利夫 東京女子医科大学 名誉教授	前田美穂 日本医科大学 名誉教授	南昌平 聖隷佐倉市民病院 名誉院長	岡田知雄 神奈川工科大学 応用バイオ科学部教授	鈴木眞理 政策研究大学院大学 教授
外来日	第3木曜日 午前	第1木曜日 午後	第1水曜日 午後	第2月曜日 午後 第4金曜日 午後	第3水曜日 午後	第1金曜日 午後

前田美穂先生による
『貧血電話相談室』
養護教諭・保健師・看護師からの相談をお受けします（無料）

開催日：第1水曜日 14時半～15時半



小児健康相談室

問い合わせ・申し込み

公益財団法人 東京都予防医学協会 学校保健部
東京都新宿区市谷砂土原町1-2

03-3269-1131

第257回学校保健セミナー 学校で配慮と支援が必要な LGBTsの子どもたち

日時 11月18日(月) 15時~17時
会場 新宿区・ホテルグランドヒル市ヶ谷3階 瑠璃

講師 日高庸晴氏 宝塚大学看護学部教授

- 対象 養護教諭・学校関係者 ●参加費 無料
- 申込不要 ●定員 200人(先着順)

問い合わせ 東京都予防医学協会 学校保健部
☎03-3269-1131

第288回ヘルスケア研修会 行動経済学の視点からの健康支援 ナッジ理論で無関心層も健康に

日時 11月27日(水) 14時~16時
会場 千代田区・星陵会館2階ホール

講師 福田吉治氏 帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授

- 参加費 2,000円
- 申込不要 ●定員 200人(先着順)

問い合わせ 東京都予防医学協会 広報室
☎03-3269-1131 内線2241、2242

第258回学校保健セミナー 虐待・ネグレクトを受けていることが疑われる 子どもたちのために学校ができること

日時 12月16日(月) 15時~17時
会場 新宿区・ホテルグランドヒル市ヶ谷3階 瑠璃

講師 山田不二子氏 認定NPOチャイルドファーストジャパン理事長

- 対象 養護教諭・学校関係者 ●参加費 無料
- 申込不要 ●定員 200人(先着順)

問い合わせ 東京都予防医学協会 学校保健部
☎03-3269-1131

第289回ヘルスケア研修会 職域で役立つ 統計の見方、読み方

日時 1月29日(水) 14時~16時
会場 千代田区・星陵会館2階ホール

講師 正木基文氏 健康管理コンサルタントセンター幹事

- 参加費 2,000円
- 申込不要 ●定員 200人(先着順)

問い合わせ 東京都予防医学協会 広報室
☎03-3269-1131 内線2241、2242

 **SHIMADZU**
Excellence in Science

超高速液体クロマトグラフ

Nexera

series Ultra High Performance
Liquid Chromatograph

EXPERIENCE NEW BENCHMARKS

お客様の分析ワークフローに対するさまざまな改善要望に応えるべく、保持時間や極微量の試料注入での優れた再現性能、高速多検体分析、低キャリアオーバー、試料の自動前処理技術、高感度検出、消耗部品の耐久性能向上など、高速液体クロマトグラフは常にお客様とともに進化し続けてきました。また、IoTやクラウドを活用したネットワーク技術により、ラボ内の機器情報を自動的に収集することで、装置の稼働状況を監視するだけでなく、いつでも最高の状態で装置が使用できる環境が容易に構築できるようになりました。

島津製作所は、これらの最新技術をさらに進化、融合させることで、「分析装置自身が考えて、お客様の分析ワークフローを支援する」という今までにない体験を提供します。

Intelligence、Efficiency、Designのすべてが新たな業界標準となるUHPLC。それが新しいNexera seriesです。



株式会社 島津製作所 分析計測事業部 Nexeraseries.com





●個人情報の取扱いについて

日頃より、公益財団法人東京都予防医学協会の機関誌「よぼう医学」をご愛読くださり、ありがとうございます。

本会では、「よぼう医学」を送付させていただいている皆様について、送付に必要な情報（氏名、住所、所属、役職など）を送付名簿として保持しております。

これらの個人情報の収集、保存、利用につきましては、本会の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理の下に運用しております。送付名簿からの削除や変更を希望される場合には、お手数ですが、下記広報室までご連絡ください。



●送付先の変更・送付中止について

送付先の変更・送付中止を希望される場合には、広報室までお知らせください。

Eメール koho@yobouigaku-tokyo.jp
F A X 03-3269-7562
T E L 03-3269-1131



健康管理コンサルタントセンター
コンサルテーションのご案内

健康管理相談を
お引き受けします

健康管理コンサルタントセンターの幹事である医師が事業所、学校、各種団体の健康管理をアドバイスいたします（予約制・無料）。

お問い合わせ・
お申し込みは事務局まで

健康管理コンサルタントセンター 事務局

東京都新宿区市谷砂土原町1-2
公益財団法人東京都予防医学協会 広報室
TEL 03-3269-1131 内線2241、2242

あなたの健康づくりを全力サポート!

よぼう医学

2019 AUTUMN 秋号 No.06
2019年10月15日発行 通巻第534号

- 発行人 小野良樹
- 発行所 公益財団法人東京都予防医学協会
〒162-8402 東京都新宿区市谷砂土原町1-2
TEL : 03-3269-1121
FAX : 03-3260-6900
URL : <https://www.yobouigaku-tokyo.or.jp>

- 企画 広報企画委員会
- 編集 広報室
- デザイン 大谷達也(有限会社アイル企画)
- 印刷 大日本印刷株式会社

●『よぼう医学』は本会ホームページ(<https://www.yobouigaku-tokyo.or.jp/>)からもご覧いただけます。

※本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載をお断りします。



SHARPER SMARTER SIMPLER



乳腺バイオプシー装置 Affirm® Prone Biopsy System



Affirm® バイオプシーガイドシステム



ATEC® Breast Biopsy システム*

販売名: ATEC Breast Biopsy システム® 認証番号: 227ADBZX00103000
販売名: 乳腺バイオプシー装置 Affirm Prone Biopsy System 認証番号: 229ABBZX00022000
販売名: デジタル式乳房X線撮影装置 Selenia Dimensions 認証番号: 222ABBZX00177000

※販売元: センチュリーメディカル株式会社



デジタル式乳房X線撮影装置
3Dimensions™

HOLOGIC®
The Science of Sure

ホロジックジャパン株式会社

〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-25 日教販ビル
TEL: 03-5804-2340 FAX: 03-5804-2321
<https://hologic.co.jp>

■お問合せ先
JPbreast@hologic.com

Hologic, 3Dimensions, Affirm, ATECおよび関連するロゴは、Hologic, Inc.およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
©2019 Hologic, Inc. All rights reserved.